

(第9号様式)

平成30年度 第4回香川公民館運営審議会会議録

議 題	平成30年度第4回香川公民館運営審議会会議次第 議 題 (1) 平成30年度香川公民館主催事業報告(第4四半期)について (2) 平成31年度香川公民館主催事業計画について (3) 諮問答申について (4) その他
日 時	平成31年3月22日(金) 14時00分～15時00分
場 所	香川公民館2階 集会室(中)
出席者氏名	山地廣委員、明石香代委員、大谷紀子委員、東いづみ委員、鈴木由香里委員
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人
非公開の理由	

○事務局

これより、平成30年度第4回香川公民館運営審議会を開催いたします。本日は長谷川委員から欠席の連絡が入っておりますが、茅ヶ崎市立公民館条例施行規則第13条第2項の開催要件を満たしておりますので会議は成立していることを御報告いたします。また、本日傍聴のお申し出はございません。はじめに、お配りしております資料の確認をさせていただきます。平成30年度第4回香川公民館運営審議会会議次第【資料1-

1～資料1-24】「香川公民館主催事業報告書」（第4四半期分）【資料2】平成31年度香川公民館主催事業計画【資料3】地域の教育力を育む施設としての公民館の役割（あるべき姿）答申（案）、本日机上配布の【資料1-25】「香川公民館主催事業報告書」（第4四半期分）（元気が出る子育て講座）です。以上、不足等はございませんでしょうか。

○山地会長

みなさんこんにちは、本日はお忙しい中、ご出席くださりありがとうございます。早速平成30年度第4回香川公民館運営審議会を開催いたします。次第に沿いまして、議事を進めてまいります。この会議は公開になっており、会議録を作成いたします。会議録には会長と委員1名の署名が必要となります。名簿順をお願いいたします。今回は明石委員よりお願いいたします。それでは議題1、「平成30年度事業第4四半期分の報告について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

○事務局

それでは、事業実施の様子をスライドでご覧いただきたいと思います。多く事業があるのでピックアップして事業を紹介します。資料1-1をご覧ください。市の高齢福祉介護課との共催事業として家族介護教室を実施しました。近年介護を必要とする人の増加により家族の負担も増大しています。介護の予防をする体操の紹介と実践のあと、福祉ベッドや車いすを使用して、ベッドから車いすへ、車いすからベッドへ移すやり方を体験しました。移すには、腰を痛めないようにするやり方やスライド板を使用してスムーズな移しができるやり方を紹介していましたが、見るのと実際に行うのとは違い、みなさん、真剣に実践し、都度、講師の方に質問をしていました。資料1-3 しめ縄リースを作ろうをご覧ください。小学生以上を対象としてお正月に飾るしめ縄リース作りを行いました。しめ縄飾り作りと同様に、本物の藁を叩いて柔らかくしてから藁をよって水引、紙垂も作りました。子どもたちは、最初に藁に興味深そうに手に取って見ていたようです。最近では、百貨店でもおしゃれなしめ縄やお正月リースを売っていますが、本物の藁で時間をかけて手作りで作るには、地道な作業ですが、結果として、親子の会話の話題作りにもなったのではないかと思います。資料1-4 日本の歳越し ～しめ飾りづくり～をご覧ください。平成19年よりご指導いただき今年度で12回目となります。経験豊富で、地域交流に理解があり、教え方もやさしく丁寧にいただいています。当日までの準備には、数か月前から行っており、特に藁を人数分、確保が出来るかどうか心配でした。また、藁すき、藁叩き、紙飾りづくりを前日に作業をしています。この前日作業も半日以上かかるため、段取りが非常に重要となります。担当者は、効率よく作業が進むよう、色々と試行錯誤しながら準備していました。講師には、これまでにしめ飾りづくりに参加していただいた方が、指導する側になっていただいております。後継者のスキルアップにも繋がりました。毎年、参加していただいている方もおり、今後は対象者を変えることも検討していきたいと思います。私も2日間参加して実際に作ったのですが、縄目が均等でない部分もありましたが、自分で作ったしめ飾りで、これまでと一味違った心持ちで新年を迎えることが出来ました。資

料1-6 冬休み学習室開放をご覧ください。夏休み期間中も、青少年に学習室の場として、空き部屋を開放しましたが、今回は、冬休み期間中に空き部屋を開放しました。利用できる人は、夏休みと同様に、小学3年生から20歳までとし、各日定員は10名としました。今回も、香川小学校、鶴が台小学校の3年から6年生、鶴が台中学校、北陽中学校の全学年の児童、生徒へ学校を通じて、チラシの配布をしました。期間中は、7日間、全14コマの利用が可能でしたが、実績は、5日間10コマで延べ15名の利用となりました。資料1-7 みんなの経済教室～「おこずかいカレンダー」を作ろうをご覧ください。今年度、大人を対象とした「みんなの経済教室」を3回開催しましたが、今回は、親子を対象とした経済教室となります。まず、「お金の使い方」についての話を聞き、お金の収支バランスが大切であることを知ってもらいました。また、寛永通宝などの古銭や1946年発行の百円券など、昔のお金を見てもらいました。お金の話の後は、お小遣いカレンダーを作りました。お小遣いカレンダーは、横7列、縦6列の42マスに仕切られたクリアケースを使って、1か月間のお金を計画的に使い、少しずつ貯められるようにしたものです。資料1-10 「大人が楽しむお話会」をご覧ください。子ども向けのおはなし会は、図書館やコミセン等で開催されていますが、大人が楽しむお話会というのは、なかなかありません。今回、明石委員が代表となっている「ストーリーテリングサークル おはなしのたまご」の方々が語り手となっていただきました。ストーリーテリングは、「物語、お話しを覚えて、語って聞かせることで、素話、語りとも言われています。多くの人たちに昔から語り継がれてきた昔話は、人々に生きる力や希望を与えてくれました。その昔話を5人の語り手が順番にストーリーテリングを行いました。参加された方々からは、「皆さん落ち着いていて、分かりやすく、素晴らしかったです。」「知らなかった物語、知っていた話すべて新鮮で楽しかったです。」「ろうそくの演出がよいと思いました。」「といったような声があり、参加された方全員が参加して良かったという結果でした。資料1-13 手品教室をご覧ください。子どもたちが手品を練習し、3月2日の子どもまつりでも手品を披露しました。1月、2月に開催しましたが、インフルエンザの時期でもあったためか、2月の時は参加者が少なかったです。参加者が少なくなってしまった分、1人ひとり、丁寧に指導されていたので、その点では良かったかということでした。1年生から5年生まで8人が参加し、ロープ、輪ゴム、紙テープ、トランプを使った手品を習いました。最初出来なかった子も、家で特訓してきたので、子どもまつりでは、見事に手品を披露することができ、子どもたちも練習すれば出来るという自信に繋がったことと思います。全員来年度も参加したいという声があったとのこと。資料1-18 あそびの広場をご覧ください。毎月第一土曜日、または第二土曜日に、講義室、広場などで計11回開催しました。たまごカラーアート、段ボール遊びをなど、大人も一緒になって遊べる広場となりました。また、季節の行事として、7月には七夕飾りを行いました。折り紙で飾り付けの作り方の指導と色紙をはさみを使って色々な形にしていき、家族で参加の方はそれぞれに飾り付け、短

冊に願いごとを書いてひもで取り付けました。3月には、子どもまつりと同日に、講義室にて、それぞれ自分の色付けで使いたいクレヨンや色鉛筆、折り紙で、親子で一緒に色とりどりの素晴らしいおひな様が出来上がりました。資料1-19 キッズデー（子どもまつり）をご覧ください。27年度から開催し、今回第4回目となりました。子どもたちによる主催事業の発表の場として、講義室にて、レッツトライボランティアで学んだ福祉施設訪問やおせちについて学んだことの発表や、紙芝居、ペープサート、手品を披露しました。このほか、竹とんぼづくり、ペットボトル工作、クイズラリー等、気軽に参加できるものを開催しました。子どもの参加者は、約180名とこれまでの倍以上の子どもたちが参加となり、子どもを中心に、子どもが楽しめる企画となり、子どもの居場所づくりとなったのではないかと思います。資料1-21 プログラミングの広場をご覧ください。4月よりほぼ毎月、スクラッチとビスケットという言語を使用したプログラミングの広場です。スクラッチは、簡単にプログラミングができるソフトです。たくさんの「命令のブロック」が用意されていて、そこから好きなものを選んでブロック同士を連結させ、指示を作っていくので、積み木で遊ぶかのように楽しく簡単にプログラミングをすることができ、自分だけのゲームやアニメーションを作ることができます。ビスケットは、言葉で表現された命令ブロックすら使いません。自分が描いた絵で、その絵を始点と終点のエリアに置き、その位置関係で動きを発生させることで、アニメーション、ゲームなどを簡単に作れます。毎回、定員を超える申込みがある人気の講座で、毎回参加する子もいます。また、これまで、申込み方法が電話と窓口で受け付けをしていましたが、11月からは、市のホームページからウェブ申込みができるようにしました。ウェブ申込みにしたことで、スムーズな受付となるとともに、申込み時に個人のメールアドレスを必須項目にしたことで、こちらから何か知らせたいときにも、一斉メールで周知することができるようになりました。こちらは、公民館職員も、毎回講師にもなりながら教えたりもしています。続いて本日お配りした資料1-25 元気がでる子育て講座です。利用者懇談会と共催で行いました。当初は11月予定でしたが、選挙のため2月に行いました。2本立てでやっております、1つはベテラン保育士の話で、昔の子育てや今の子育て、参加者の悩みについて再任用のベテラン保育士にお話をさせていただきました。その中でグループワークも行い、悩みなどを共有しました。人に聞いてもらうことで楽になった、時間がもっとあれば良かったという意見もありました。2つ目は親子ピラティスを行い、子ども一緒になってピラティスで体を動かしました。親子18組が参加しました。来年はまた内容を変えて実施したいなと思っております。親からは、こういった子育て講座はもっとあっても良いという意見もございました。以上で説明を終わります。

○山地会長

事務局の説明が終わりました。この件に関してご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○大谷委員

今の25番の最後の方なのですけれども、親子でということでご報告あったんですけれども、実際に連れて来られるお子さんというのは何歳くらいの子たちなんですか。

○事務局

3歳から6歳くらい、未就学児の親子を募集しました。中には1人でお二人連れて来られる方もいました。今回託児も設けましたので下のお子さんがいらっしゃる方は保育室の方で託児をしていただくということで対応しました。

○山地会長

他にございますか。では私の方からいいですか。1-6の冬休み学習室開放。今年度は、これまでに比べると人が増えているという事なのですが、これはやはりチラシとかの効果でしょうか。

○事務局

そうですね、それまでは全児童配布ではなかったんですが、昨年度ぐらいから学校的全児童にチラシを印刷して配ったことが大きかったのかなと思います。

○山地会長

どこの学校の方が来られたとかいうことはわかるんですか。万遍なく来てるんですか、それとも偏ってるのですかね。

○事務局

やはり小中学生だと近隣の学校が多いですね。後は高校生だと、近くに住んでいる方が多い印象ですね。私立の学校に通っていて、ロビーで勉強している方などもいらっしゃいました。学校が始まる時期が異なるのですよね。居場所としては提供できたのかなと思っております。

○山地会長

結構長い時間いらっしゃるのですか。

○事務局

そうですね、朝9時半とか10時くらいに来て、お昼を持ってきて食べている時もありましたし、一旦帰ってまた午後來る場合もありました。

○山地会長

そうやってどんどん利用する方が広がってくるといいですね。

○事務局

安心して子どもたちも、親御さんも行かせることができますと思いますので。

○山地会長

環境も部屋の中で暖房とか効いていていいですしね。

○事務局

そうですね。

○山地会長

どうもありがとうございました。

○明石委員

子どもたちのプログラミングでパソコンを持ち込まれた方とレンタルの方はどのくらいの比率なのですか。

○事務局

日によってまちまちなのですけれども、平均すると、パソコンは持ち込みの方が少し多いかなという印象があります。タブレットだと借りることの方が多いかなという印象です。すごい差があるわけではないですね。

○明石委員

Wi-Fi はあれだけで大丈夫なのですか。

○事務局

そうですね、本当は会議室をとってやりたいところもあるのですが、Wi-Fi がロビーに設置してあるので、ロビーで実施しております。昨年度も実施しておりますのでそこでどれくらいの人数なら大丈夫なのか確認して、行っております。

○明石委員

部屋の中に入っちゃうとダメなのですか。

○事務局

場所によりますね。集会室大や中などはあまり入らないのですが、集会室小や和室だと入りやすいというのがあります。同時に複数台数を一気につなげてしまうとつながらなくなってしまう可能性があるのですが、ずらしてつないでいけば15、6台は大丈夫という印象です。ロビーでやっているのですが、こういうことをやっているよと周知にはつながりますが、少しガヤガヤしてしまいます。ただ特に苦情等はありませんのでロビーで行っております。

○明石委員

すいません台数がいっぱいあったので気になりました。

○山地会長

後はよろしいでしょうか。私の方からも一ついいですか。1-7のみんなの経済教室。報告書の下の方の3番目のところに、電子マネーやプリペイドカード等目に見えないお金について子供に教えていくことの大切さを認識してもらえたとありますが、そのことについて講師の方から説明などはあったのでしょうか。電子マネーとかプリペイドカードとか。

○事務局

実際にお子さんたちは親がカードを持って買い物をしているのが、湯水のように無限に使えると思っていたらしいのですね、お子さんたちは。不思議なカードがいくらでも使えると思っていたらしくて。そういうようなことがあって教えたと言っておりました。ちゃんとお金を使うにはお金を入れなければいけないのだよと。

○山地会長

そうですね、子どもたちもこういうのを見ると自然に使えると思ってしまいますよね。今こういうのはスマホでもできますからね。後はウェブ申し込みというのは、プログラミングでやったと書いてありましたが、他の事業もやっているんですか

○事務局

そうですね、子ども向けの事業であったり、比較的若い世代向けの事業については使っていますね。キッズバスケットやかけっこ教室などもウェブ申し込み可能にしております。最初は電話でかかってきてしまうのですが、回数を重ねるごとに7割くらいはウェブで申し込んでくれます。

○山地会長

私は見たことないのですけれども、入っていくともうこの事業は定員になりましたとかそういうのが出るんですか。

○事務局

定員になりましたというのは出ないのですけれども。受け付けられませんかという表示が出ます。それが出たら満員という事ですよという注意書きを書いて運用しております。

○明石委員

ウェブ申し込みという事についてなんですけれども、窓口対応とウェブで優先順位とかはどうなるんですか。

○事務局

同列ですね。窓口で来た場合は職員が同じところで入力するという形になりますので。並んでしまってもウェブ申し込みにしている限りは同列でやっております。

○明石委員

窓口のほうに早く並んだ場合はそっちの方が早く受付とかいう事はあるのですか。

○事務局

いえ、同列ですね。1番最初に並んだ場合は我々が入力しますので、おそらく入力できるかと思いますが、2、3番目とかになってくるとわかんないですね。家から入力している方が早い場合もあり得ますので。自分で入力している人と、聞いて私たちが入力しているとどちらが早いかという問題ですね。

○明石委員

どちらにせよパソコンの受付で決まってしまうということですかね。

○事務局

そうですね送信したタイミングで決まってしまう。ただ並んでいる事業はほとんどないので。今年度は並んでいる事業はありませんでした。

○山地会長

他によろしいですか。ないようでしたら、次に議題2、「平成31年度香川公民館主催事業計画」についてを議題としたいと思います。

○事務局

テーマは、昨年10月27日、28日に開催した第30回公民館まつりに掲げたテーマとなっています。31年度におきましても、「子ども事業」「家庭教育支援関連事業」「社会的要請課題をテーマとした事業」「地域交流事業」「学習成果の還元事業」「公民館ふれあい事業」と「公民館運営審議会・その他」の7つに分類しています。各事業につきましては、職員会議において今年度実施している事業について、これまでの経験や事業に参加した方のアンケートなどから、「継続したほうがよい事業」「今年度で終了したほうがよい事業」「新たに実施する事業」「事業を統合する事業」を話し、31年度の事業を予定検討しています。「子ども事業」につきまして、番号2「かがわキッズデー」とありますが、これまで、「あそびの広場」「かがわこもれびプラザの将棋の広場」「おはなし広場とかみしばいの広場」と別日に実施していた事業を統合し、毎月第一土曜日にまとめて実施することで、子どもたちがその日に、一つだけではなく、色々なイベントを楽しめるようにして、さらなる子どもの居場所づくりの充実を図っていこうと思います。さらには、香川公民館は、図書館分館と併設していることから、より効果的に事業を進められるよう、分館で実施している「映画会」をキッズデーの中で実施できるよう、分館と連携していきたいと考えています。次に「2 家庭教育支援関連事業」につきましては、前年度から継続して同じ事業を実施していきます。次に「3 社会的要請課題をテーマとした事業」におきましては、項番21、22が市民提案事業による新規事業となります。21の社会教育の講座のテーマは、「学び、語りあい、未来をつくる～公民館を知ろう～」として、公民館がどういうところかを知ってもらい、どんな活動ができるか、これからの公民館の可能性、今後の公民館の活動について、全4回の講座を予定しています。22番「介護予防教室」については「家族介護教室」の中で介護予防体操をやっていたのですが、それを特だしして行うものです。次に、「4 地域交流事業」につきましては、項番5サークル音楽会が新規事業となります。6の山田耕筰と茅ヶ崎のうたは、30年度は、子ども事業に分類していましたが、地域交流の視点が大きいことから、こちらに変更しました。項番5のサークル音楽会も市民提案事業となります。香川公民館におきましても、10以上のハーモニカや尺八などの音楽サークルがありますが、公民館まつり以外で音楽の発表をしていないことや、他公民館におきましても、音楽祭を開催しており、非常に好評であることから市民提案事業を受けて開催していきたいと考えています。ただし、一方的な発表ではなく、見に来ていただいている方も一緒になって歌ったり、演奏することができるようなものにしたいと考えています。次に、「5 学習成果の還元事業」につきましては、前年度から継続して同じ事業を実施していきます。次に、「6 公民館ふれあい事業」につきましては、前年度から継続してほぼ同じ事業を実施していきます。次に、「7 公民館運営審議会・その他」につきましても、前年度から継続して同じ事業を実施していきます。

○山地会長

事務局の説明が終わりました。この件に関してご意見、ご質問等ございますでしょうか。私の方でよろしいでしょうか。3番目の社会的要請課題のところの21社会教育の講座、新たにやるとの事ですがこれは対象はどういった方ですか、中学生なども含めてでしょうか。

○事務局

対象は一般という形ですね。年齢制限はないです。

○山地会長

今回、答申の中にいろいろ書かせていただきましたが、若い人たちが公民館を何か活用してもらおう、企画するとか、そういうところに入ってもらってやろうと。中学生とか高校生とかにも、公民館とはどんな場所なんだろう、そういうところを知るためにはこういう場に出るのはいいのかなと。あと上の方にも公民館理解のための学習会というのがあって、4ですね。こういうところにもですね、若い人たちに公民館というのを知ってもらい、分かってもらえるような話になるといいですね、そこら辺は講師の方によるかと思いますが。

○事務局

そうですね、4番の公民館理解のための学習会は、先程の親子ピラティスと保育園の先生に来てお話をさせていただいた学習会の方になります。こちら4番のテーマは決まっていますので何ともいえないのですが、21番の社会教育の講座については一般という形で募集するのですが、チラシは配ってもいいかもしれないですね。難しいかもわかりませんが。

○山地会長

高校生くらいでも聞けるような内容になれば、公民館に来てもらえるようになるように。

○事務局

チラシなりポスターなればこれから作っていきますので配る事は可能かもしれません。

○山地会長

それに関連したものでサークル音楽会、これも大人たちだけではなくて、子どもも絡めるような形で多世代でできるようにしたらいいのではないかなと。これも新たな事業ですよ。そうすると何かいろんな世代が入って、おじいさんから民謡を教えてもらおうとかちょっと分かりませんが、そういうつながりがあればいいかなと思います。あとは公民館まつりとかそういうところで中高生の企画とかがあれば。他に何かありますか。よろしいでしょうか。こちらの方で来年度は集めていただくと。それでは次に議題3、諮問答申についてを議題としたいと思います。これについては資料3ですね、今まで皆さんにご議論いただいてまとめたものです。こちらで一応答申案という形で皆さんのほうにお手元に行っていると思います。内容的には皆さん1回見ていただいていると思いますので、詳細の説明は致しませんけれども、だいたい目次のところを見ていただければ。構成としては、初めにというところで、諮問内容やテーマの選定背景とかそういったものを書いております。それから2番目の項目のところ公民館を取り巻く環境と現状と問題点という形でまとめてあります。それで3番目として提言と言うことで地域の教育力を育むために今後の公民館の役割ということで、それぞれ3つの諮問いただいた内容に合わせてまとめています。それから4番目が結びに変えてというところで、ここは私の方で文章を書かせていただきました。一応皆さんこれまでに目を通していただいていると思いますので、何かこれについて事務局の方から話ありますか。

○事務局

少し説明をさせていただきます。現状や委員さんからの意見、りよこんだよりからの意見をもとに、順次、意見を分類し、最終的に「3. 今後の公民館のあり方（提言として）」の中に、「具体的な方策として」の記載していただきました。子どもたちの居場所、子ど

もと地域の大人とのかかわりあい、中高生と子どもとのかかわりあいについて、今後、公民館がどのようにして取り組んだら、より地域の教育力が向上できるか、まとめていただきました。公民館単体で動くのではなく、これまで以上に、学校や幼稚園・保育園、地域の団体など様々な組織と連携しながら、そして、公民館からより情報発信をしていくということを、わかりやすく纏めていただけたと感じております。

○山地会長

ありがとうございます。それでは、出来上がりました答申書（案）について、委員の皆様なにかご意見等はございますか。特にないですかね。それでは、本日いただいたご意見も加味するというで最終版としたいと思います。みなさんそういうことによろしいでしょうか。

（一同承認）

ありがとうございました。それでは議題の4「その他について」事務局から何かありますか。

○事務局

前回の諮問は、若い世代の公民館とのかかわりという、難しい切実な課題を諮問させていただきました。今年度は、地域の教育力を育む施設としての公民館の役割（あるべき姿）として、子どもの居場所、子どもと地域の大人とのかかわりあい、中高生と子どもとのかかわりあいといった、今回もすぐに解決できるようなものではない難しい課題について、本年度一年間かけて議論していただきました。この諮問に対する議論につきまして、事務局といたしましても、答申の作成過程の中でさまざま提案されたご意見を、いくつか来年度の計画事業の中に盛り込むことができたと思います。公私ともにお忙しい委員の皆様の貴重なお時間と、様々な切り口からのご意見をいただき、答申という形でまとめいただきましたこと、委員の皆様には厚く御礼を申し上げます。お忙しい中、本当にありがとうございました。いただきました答申の提言について、今後、十分に活かしながら、質の高い公民館運営を行ってまいりたいと思います。皆様2年間本当にありがとうございました。それともう、1点実は先日の内示で、私は異動になってしまいました。まだ1年目だったのですが、みなさまから審議会の中でも意見をいただいて、おまつりりの中でも色々に参加いただいて、温かく迎え入れていただいて助かった、うれしかったと思います。またどこかでお会いすることもあると思いますのでよろしく願います。ありがとうございました。これは私からのご挨拶となってしまいますが。

○山地会長

では今回今日が最後になりますので皆様から一言ずつ。感想や公民館で期待することなど1人一言ずつ願います。では明石さんから。

○明石委員

何をしてこれたんだろうとすごく反省しております。ほんとに自由に発言をしてしまったのですが、こういう形できちんとまとめて下さってありがとうございました。ほんとに言いつばなしで申し訳ございませんでした。素晴らしい形でまとめてくださりどうもありがとうございました。お世話になりました。

○山地会長

明石さんは再任されるのですよね。

○明石委員

はい。

○山地会長

では頑張ってください。

○大谷委員

何もほんとに公民館に対して無知な状態で公運審ということを引き受けまして、私でいいのかなと、最初にこちらの会長から言われたときに思いました。「大丈夫よ」なんて言われて簡単に来てしまったのですけれども、本当に何も知らなくて、公民館、昔からのイメージで避難する場所とかはありましたが、なにかいろいろやるということが頭の中になかったので、2年間でいろいろなことを勉強させていただきました。まだまだわからない部分がいっぱいあって、半分も理解してないかなと自分では思っているのですけれども、もっともっと知ろうという気持ちが湧いてきました。自分でも利用してみたいなと思いました。今は印刷に月一回来させていただく程度なのですけれども、別の形で自分にも、家族にもいろいろこういうことができるんだよと、そういうところからまで伝えていきたいなと思いました。1年間ありがとうございました。

○山地会長

大谷さんは再任ですかね。

○大谷委員

そうです、よろしくお願いします。

○東委員

子ども会と、そこから青少年指導員をやって公民館と月に何度もお邪魔させていただく、そういう関わりだったのですけれども、漠然といろいろ聞かせていただいたり、講演に出て学んで考えるようになって、それで館長さんが子どもと公民館について積極的に関わっていかうという提案とかも出されて、会長さんもすごい建設的な意見を述べられて、こういう方がいらっしゃるのだとすごい感心したんですね。離れるのは寂しいのですけれども、今後に期待していきたいと思います。子どもが本当に生きにくい時代、大人もそうですけれども、子どもから大人になる間にいろいろ成長できる時にくじけちゃったり、自分を出せない子どもが多い中で、公民館がこういうふうに関わろうというふうにしてくださる提案がとてもすばらしいと思うのでまたよろしくお願いします。

○鈴木委員

私も幼稚園をやっているのですけれども、なかなか公民館のほうに足を向けるということがなかったので、今回初めてこういうところに参加させていただいて、初めて公民館はこういう役割をしているんだなとすごく考えさせられるようになりました。勉強になりました。ありがとうございました。ここに来るたびに卒園生の子どもたちにあたりとか、

おまつりの時にも子どもたちに会ったりできたので、こうやってきちんと利用してる人がいるのだということがすごく身近に感じまして、本当にいろいろと幼稚園からも提案できるものがあつたらさせていただきたいと思います。プログラミングのことも色々ありがとうございます。展示していただいて。あれで香川公民館のほうに行ってきたんだという話を聞くと、よかったですと思いました。私はこれで2年で終わりなのですけれども、次の先生がまた新しくいらっしゃると思いますので。どうもありがとうございました。

○山地会長

では私の方から。私は4年前ですかね、自治会の役員をやっている時に、前任者の方が病気か何かでできないということで2回目くらいから委員になったのですけれども。公民館とか利用した事はそれまであまりなかったのですけれども、いろいろ4年間公民館のあり方とか、いろんなその勉強会とか研修会とかですね、そういうのに出させていただいて、公民館のあり方とか社会教育とかそういうのいろいろ学ばせていただいたということで、ありがたく思っております。特にこの1年間は諮問答申ということで出していきましたが、皆さんからいろいろ専門的なご意見、今までの経験を生かしたご意見をありましたので、それをまとめるだけという形だったので、議論させていただき、いい答申が出せたと思っております。一応これで終わりですが、皆様のご経験のある意見等があつたからこそであると思っておりますので、ありがたいと思います。それから事務局にもサポートいただいでこういう形でまとめていきましたので、会議の設定とかもやっていただいで助かっております、ありがとうございました。これからは経験を生かして、何らかの形で公民館には少しずつ関わっていければいいかなと思っておりますのでよろしくお願いします。1年間どうもありがとうございました。

○事務局

みなさまどうもありがとうございました。再任の方はまた次年度もよろしくお願いいたします。任期満了の方も、公民館では様々な事業等行っておりますので、機会があればお越しください。どうもありがとうございました。

○山地会長

以上でよろしいですか。これを持ちまして、平成30年度第4回定例会を終了いたします。みなさん2年間ありがとうございました。

会長署名

山地 廣

委員署名

明石 香代